



## 生徒の気持ちとポピュリズム

生活指導主任

生徒の言葉に耳を傾け、思いや願いを受け止める。これは我々教員だけでなく、全ての大人に求められる態度ではないかと思います。相手の話を聞く。遮らずに聞く。最後まで聞く。もちろん、身勝手な主張やわがままを最後まで聞き続けるというのは、辛く、苦しく、ときに腹立たしいことでもありますが、それでもなお、最後まで相手の話を聞くというのは、やはり大人として大切なことだと思います。我々がそれを諦めてしまうようでは、話を最後まで聞ける人間を育てられるはずもありません。言うは易し行うは難しで、私自身、これを書きながらも、はなはだ耳が痛い話です。

ただし、意見を受け止めることと、その意見を受け入れることとは、まるで別の問題です。「生徒の意見を尊重する」というのと「生徒の意見の通りにする」のとでは、それこそ天と地ほどの違いがあります。しかし、その違いがしばしば混同され、曖昧になり、それが大きな勘違いや衝突の原因になります。「相手の意見を受け入れる事、希望を叶える事」を主張する安易なポピュリズムは、たしかに一定の人気があります。しかし、その多くが将来を約束しない、結果を保証しない、その場限りのものにもなりがちです。例えば、全校でアンケートを取ったときに、多くの生徒が「学校へのスマホ持ち込み」に賛成するであろうことは、想像に難くありませんが、そのような意見に我々はどうに向き合えばよいのでしょうか。受け止めるのか、受け入れるのか。同じような問答が、すでにご家庭でも繰り広げられた（もしくはこれから繰り広げられる）のではないかと想像してしまいますが、そこで試されるのが知恵と経験に基づいた大人側の態度ではないかと思います。

実のところ、生徒の言葉には真実があります。それは、彼らの立場、彼らの目線で捉えた、彼らにとっての真実です。しかし、立場や目線を変えると、それまで正しく見えていたものが実は間違っていたことに気付く…そのことを、多くの大人は経験を通じて知っています。

大所高所からという表現があります。これは決して「相手を下に見る」という意味ではありません。生徒の思いをしっかりと受け止める。そして、その上で、さらに一步高い場所に立ち、より遠くを見据え、相応しい道筋を探し当てる。家庭での子育てと学校の指導において共通する考え方とは、そのようなものではないでしょうか。

## スタントマンによる自転車安全教室



生徒たちの表情がすべてを物語っています（写真）。杉並警察とスタント会社の方をお招きして、自転車安全運転講習「スケアード・ストレート※」を実施しました。時速40キロで走る自動車と自転車が衝突するとどうなるのか。事故の再現を目の当たりにするたびに、生徒たちからは大きな悲鳴が上がりいました。

スタントマンの皆さん、文字通り命がけの演技から、多くを学ぶことができました。

（生活指導部 安全教育担当）

※ Scared Straight = 恐怖を直視する、という意味だそうです

## 生徒総会

10月26日（木）の6校時、体育館にて後期生徒総会が行われました。2年生が新しく委員長になって初めての生徒総会でした。また、タブレットで議案書のデータを確認しながら、生徒総会を実施しました。

生徒総会では、「活動内容が前期と同じだが、何か新しいことに取り組まないのか」、「インターネットで他の学校の取り組みを調べ、取り入れてはどうなのか」などの要望が印象的でした。生徒たちが学校をよりよくしたいという気持ちがあったのではないかと感じます。また、何か新しい取り組みを行いたいと考えている委員会も昨年度までと比べると多くなってきています。

失敗を恐れて何もしなかったら、なにも変化しません。成功だけでなく、失敗からも学び成長する姿が生徒会活動には求められていると日々感じています。（生徒会担当）



## レスキュー隊

10月22日（日）立正佼成会 法輪閣 駐車場にて「杉並区消防団合同点検」が行われました。高南中からはレスキュー隊が参加し、消防団の訓練に混ざって、火災発見時の対応、けが人への対応、放水訓練に参加しました。

三角巾の使い方や、応急処置の仕方、ホースの伸ばし方など初めての経験することも多く、実際に災害があったときに必要な活動を体験することができました。（副校長）



## 杉っこまつり

10月29日（日）に杉三小で開催された「杉っこまつり」で吹奏楽部が演奏させていただきました。今までリードしてくれていた3年生が引退し、1・2年生だけでの初めての本番演奏でしたが、17名の部員の力強い音と歯切れのよいトークで会場を盛り上げることができました。

（吹奏楽部顧問）



# ○連合文化祭（敬称略、順不同）

## 出展作品等

- ・サイエンスグランプリ

〈 作 品 名 〉

ベンフォードの法則

天気の研究②



- ・美術科

〈 絵 文 字 〉

1年



〈 不思議な空間（空想画）〉

2年

〈 作 品 名：仮面（立体） 〉

2年

〈 今を生きる私へ（自画像） 〉

3年



〈 BOXアート（立体空想画） 〉

3年



- ・家庭科

〈 お弁当をつくろう 〉

2年



- ・技術科

〈 自由制作 （木材・アクリル・金属） 〉

1年



素晴らしい作品がギャラリーを彩っていました！



## \* 高南中生の活躍（敬称略、順不同）

○ソフトテニス部

東京都ソフトテニス新人大会

第3位

ペア

○卓球部

杉並区卓球秋季新人大会

第4位 男子団体

## ほけんコラム

今月から何回か保健室から見た子どもと健康ということでコラムを書かせていただくことになりました養護教諭の浅川です。よろしくお願ひします。

保護者の皆さんには健康診断を受診されていますか？ 9月に2年生で行ったがん教育で検診率が半分に満たないという講師の先生のお話があり、生徒たちは何で行かないんだろう？ いつでもどこでも気軽にというあのCMのジムのように検診会場があれば受診率があがるものではないか・・などをいろいろ話し合いました。ふと学校の健康診断に注目すると検診率が低い項目が視力検査と歯科検診です。夏休み前に「未受診の生徒は受診しましょう」と学校医のインタビュー内容を取り上げて保健給食委員から呼びかけを行いました。それでもまだ半数ほどの生徒が未受診です。健康診断が学校のように自分の意思を問わず行われるのはあと数年。その後は自ら計画的に受診をしていく必要があります。また再受診はお金も時間もかかってきます。しかし、がん教育の講師の寺井先生はおしゃっていました。ステージ1で見つかったがんは治せることが多い（5年生存率は95%以上）と。だからこそ、「毎年症状がなくても検診に行く！」「要精密検査は必ず受診する！」このことをぜひこの中学生の段階から意識できる生徒を育てたいと私は思っています。今年度春の健診で未受診の生徒にはこの三者面談で再度、受診のお願いをさせていただきます。お忙しいと思いますがご協力を願います。（主任養護教諭）

## 12月の主な予定

日付	曜日	予定
12/1	金	安全指導 5時間授業（～9日）
4	月	生徒朝礼（駅伝壮行会）三者面談始（全）～13日 移動プラネタリウム（3年生）
6	水	駅伝事前検診
7	木	【高南カフェ】
10	日	杉並区中学校対抗駅伝大会
13	水	避難訓練 三者面談（全）【高南プラン】
14	木	職員会議 【高南カフェ】
15	金	移動教室保護者説明会（2年生）
18	月	学校運営協議会
20	水	校内研修 【高南プラン】
21	木	【高南カフェ】
22	金	大掃除
25	月	2学期終業式（ウィロビー報告会）職員会議
26	火	冬季休業日始（～1月8日）

上記の予定は、令和5年11月29日現在のものであり、今後、変更する場合もあります。【】は、希望者のみ

## 令和5年度 教育調査

令和5年度の高南中学校教育調査（独自調査）を Microsoft forms を使用して行います。

「すぐメール」でURL、学びポケットでQRコードをお知らせいたします。回答は各家庭1回でお願いいたします

調査回答をいただく期間は、令和5年12月18日～令和6年1月10日です。

杉並区からの教育調査（全校共通）も並行して行っております。お忙しい時期ではありますが、両方共に回答いただきますようご協力を願いいたします。

これらの調査結果については、高南だよりにてお伝えいたします。

## 学校運営協議会

11月22日（水）に行いました。体力テストの結果や2学期の行事について話し合いました。次回は、12月18日（月）午後3時30分より開催します

参観を希望するすべての方に公開しています。参観希望のある方は、本校副校長までご連絡ください。